

ファイナンス業務で連携

大垣西濃信金と商工中金

大垣西濃信用金庫と商工中金は25日、サステナブルファイナンス業務における連携や協力に関する覚書を交わした。同業務について商工中金が県内の金融機関と連携するのは初めて。

近年、環境保全や社会課題解決に資する事業に用途を限定したサステナブルファイナンスやポジティブインパクトファイナンスが注目され、企業のニーズも高まっている。

ファイナンス業務においては国際的なガイドラインに準拠した適正な資金供給が求められることから、同信金が知見やノウハウを持つ商工中金の協力を受け、顧客への適切な商品・サービスの提供や課題の解決を一緒に進めていく。

同信金は現在提供するSDGsサポートローンに加

え、10月1日からグリーンローンやソーシャルローンなどのサステナブルファイナンス、ポジティブインパクトファイナンスの取り扱いを始める。

大垣市恵比寿町の同信金で締結式があり、小川章理事長と商工中金岐阜支店の小坂貴史支店長は「協力して地域経済の発展に貢献していく」などと語った。

(宮本寛)



覚書を交わした小川章理事長(左)と小坂貴史支店長。大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫